

事業番号	174
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	湖西市民芸術祭の開催事業				担当課	社会教育課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	芸術文化係	
総合計画	めざすまちの姿	7 歴史・伝統・文化を生かし次世代に継承するまち					
	目標	② 文化・芸術の振興					
	成果指標	文化協会登録団体数	中間目標 (H27)	110団体	最終目標 (H32)	115団体	
予算区分	一般会計	10 款 教育費	6 項 社会教育費	6 目 文化振興費			
	細事業	601 芸術文化振興					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令						
実施主体	<input type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	市民文化振興の向上のため、創作活動を奨励し、情操教育育成のため発表・鑑賞の機会を提供する。						
内容(概要)	湖西市芸術祭の開催(湖西市文化協会委託事業) 1 文化の祭典(文化祭) 短歌、俳句、川柳、書道、絵画、写真、陶芸、手芸その他創作作品の展示 2 芸能の祭典(芸能祭) 民謡、詩吟、詩舞、民謡、箏曲、日本舞踊、ダンス、バレエその他芸能の発表 3 美術の祭典(美術展) 絵画、水墨画、書道、写真の展示 4 市民文芸の刊行 小説、詩、短歌、エッセイその他文芸作品を掲載する冊子の刊行						
これまでの改善・見直しの状況							

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	1,780	1,780	1,997	(内訳) 委託料 1,780
	決算	1,780	1,780	→	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
職員人件費		925	2,092	2,985	人工 0.2 人

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	文化の祭典入場者数	人	目標		2,000	2,000	2,000
実績				1,665	1,611		
美術の祭典入場者数	人	目標		3,500	3,500	3,500	94%
		実績		3,413	3,292		
文化協会登録団体数	団体	目標		110	110	110	95%
		実績		105	104		

実績・改善	平成23年度活動内容	1 文化の祭典（文化祭） 平成23年10月28日～11月2日 アメニティプラザ 1,611人 2 芸能の祭典（芸能祭） 平成23年11月20日 市民会館 880人 3 美術の祭典（美術展） 平成24年2月4日～2月8日 アメニティプラザ 3,292人 4 市民文芸の刊行 市民文芸（2号） 平成24年2月1日発行				
	課題・問題点となった事項	文化協会会員が高齢化しており、事業活動がマンネリ化している。				
	どう対処したか	若年層の加入を推進するよう文化協会に働きかけを行っている。				
	改善点	合併を機に、新たな環境が創出され、芸術・文化の活性化が図られた。				効果額 H24-H23 (千円)

自己評価	事業目的の達成状況	芸術祭の来場者数はほぼ目標を達成しており、市民に定着してきた。ただし、出場者・来場者も一定化しており、拡大が必要である。				
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	・市民の文化創造活動の支援が困難となり、芸術文化の振興を図ることができなくなる。				
	判定	<b>A 継続</b>	より一層の充実を図り実施	事業主体	市	
	判定理由	市民の文化活動を支援するためにも発表する場の提供が必要であり、この市民芸術祭は大きく寄与している。				
今後の方向性	市民の積極的な文化活動への参画を促し、文化意識を高め、ゆとりや感動あふれるまちづくりを推進する。					